

## 事業実績書

1. 地域づくりの活動方針(テーマ)

第3次陶地区地域づくり計画における“陶の将来像”である「みんなでつくろう笑顔でつながるふるさと陶」を目指し、様々な年齢層が一緒になり、「オール陶」の体制で地域づくりを進めてまいります。

2. 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	笑顔でつながるまち陶	
	事業名	ふれあいまつり	決算額 289,389
②	視点	帰りたくなるまち陶	
	事業名	夏フェス・遊友カフェ	決算額 100,000
③	視点	誰もがつながり支えあうまち陶	
	事業名	自主防災活動の推進	決算額 213,741
④	視点	交通手段が整うまち陶	
	事業名	コミュニティ交通検討委員会活動	決算額 0
⑤	視点	誰もがつながり支えあうまち陶	
	事業名	陶クリーン作戦	決算額 497,154

3. 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①2大イベントの「運動会」「ふれあいまつり」はコロナ感染拡大防止の為に中止となったが、若者グループが陶のメインイベントの火を消すまいと、ふれあいまつりの当初から現在までの写真約7000枚の中から月のテーマに合った写真を抽出してカレンダーを作成し来年度へと繋いだ。	△
②「夏フェス」は12月まで待つ『冬フェス』に切り替えてでも実施する意気込みであったが、コロナ第3波で拡大傾向になり中止となり、「友遊カフェ」もコロナ感染拡大防止のため中止となった。	×
③年度当初新任自主防災メンバーに外部講師による研修を実施し、災害時対応強化を目指したが、コロナ禍での構築では無理と判断し容易に出来る「命を守る行動」に切替、火災警報器の点検・交換、及び土嚢づくりを消防団員と協力し実施した。	△
④年度当初、コロナ感染拡大防止のため交流センター閉鎖等があり会議の開催が出来ない状況が続いたので、連絡協議会全体の士気が弱まり一度も協議することはなく11月の市長による「車座トーク」で質問のみに終わった。	×
⑤コロナ禍において、屋外作業で三密を避けながら小学生～高齢者まで例年とほぼ同数の参加者で、地区内の国道、県道周辺や通学路及び中央公園のクリーン作戦を実施する事が出来た。	◎

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

- (1)「陶地区民運動会」、「陶ふれあいまつり」、、「三世代交流」などの大きなイベントを始めほとんどの行事がコロナウィルス感染防止のため中止を余儀なくされた。来年度はコロナ禍での行事実施となる可能性があり、今年度の後半の数少ない行事の経験を活かして今後の活動形態の柔軟な対応を目指す。
- (2)「夏フェス」がダメなら「冬フェス」まで延期、「陶ふれあいまつり」が中止なら他に何か出来るのではの新たな発想が若者グループから委員会に具体的提案があり、年度内に提案事項を実現させた。この様な若者から発案があった事は、委員会委員に若手を起用して成果があったと思える。

5 事業内容

(1)協議会運営

事業費	3,950,190円						
事務局の運営体制	<p>(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務員:2名                  (運営費の主な内容) 事務局人件費、費用弁償、事務費、通信費                  (成果・評価) 総会は70%が新任委員の中いきなりの書面議決で、面識のないままの2か月間は一方通行の指示文書、その後委員会等で顔合わせで少しずつ相互でのやり取りが出来る様になったが、コロナ禍での教訓で会議の在り方として、face to faceの大切さがわかった。                  (今後に向けて) より円滑な事務局運営を行うために、事務改善に努める。</p> <p style="text-align: right;">(費用明細)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">事務局長給与</td> <td style="text-align: right;">1,289,993円</td> </tr> <tr> <td>事務局員給与</td> <td style="text-align: right;">2,051,238円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td style="text-align: right;">608,959円</td> </tr> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">雇用保険¥29,878含む</p>	事務局長給与	1,289,993円	事務局員給与	2,051,238円	事務費	608,959円
事務局長給与	1,289,993円						
事務局員給与	2,051,238円						
事務費	608,959円						

(2)地域振興

事業名	人材発掘、人材育成
事業費	4,734円
事業概要	<p>(実施内容) 若者座談会でコロナで中止の行事を代替え策を話し合った。                  (実施時期) ①6月 ②8月 ③9月 ④10月 ⑤12月 ⑥1月 ⑦2月                  (参加人数) ①10人 ②10人 ③10人 ④8人 ⑤28人 ⑥9人 ⑦5人                  (成果) みんなのアイデアで「思い出で綴るカレンダー」の作成となった。                  (評価) 各行事が中止となる中、「何かしないと」の意気込みが連合会を動かした。                  (今後に向けて) 若者の意見を真摯に受け止め、より連合会の活性化を図りたい。</p>

事業名	ふれあい行事の開催											
事業費	389,389円											
事業概要	<p>(実施内容) ①「地区民運動会」②「夏フェス」③「陶ふれあいまつり」④友遊カフェ、コロナで中止。                  (成果) ①～④の行事は、コロナで中止となったが、②の夏フェスはコロナで冬まで延期したが、コロナ終息とならなかったので、来年からの夏フェス用に調理器具を先行投資した。                  ③はコロナで中止となる可能性が高いと判断した若者が③の代替え案のカレンダー作成を提案し地区内住民に配布した。また行事を映像に残すための機器も整備した。                  (評価) 「また行事中止」のムードを若者の提案でかたちを変えた行事実施となった。                  (今後に向けて) 来年度もコロナ禍での行事が予想されるが、今年度の経験を活かし、行事の中止を極力なくすよう工夫が必要となる。</p> <p style="text-align: right;">(費用明細)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">①地区民運動会</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td style="text-align: right;">289,389円</td> </tr> <tr> <td>③陶ふれあい祭</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②夏フェス</td> <td></td> <td style="text-align: right;">100,000円</td> </tr> <tr> <td>④友遊カフェ</td> <td></td> <td style="text-align: right;">0円</td> </tr> </table>	①地区民運動会	}	289,389円	③陶ふれあい祭		②夏フェス		100,000円	④友遊カフェ		0円
①地区民運動会	}	289,389円										
③陶ふれあい祭												
②夏フェス		100,000円										
④友遊カフェ		0円										

事業名	活動グループの育成
事業費	52,259円
事業概要	<p>(実施内容) 地区民の活動グループ(①ふれあい農園クラブ、②陶助人隊、③写友陶)を支援(趣味等が同じひとの集まりから少しづつ組織化する)</p> <p>(実施時期) ①②③通年</p> <p>(参加人数) ①会員18人 ②隊員21人 ③会員9人</p> <p>(成果) ①野菜の植え付けから収穫を1年通してみんなで作業、ふれあいを深めている。 ②主に中央公園の事前草刈り、グリーン作戦事前除草剤散布等の作業を実施。 ③2か月に1度交流センターでの写真を掲示し、カメラ・レンズ・構成の自慢話に花が咲く。</p> <p>(評価) ①野菜づくりを通じて、他の地域貢献活動の足掛かりに繋がっている。 ②中央公園、グリーン作戦の裏方力作業等の要請はあるが、他の助っ人要請はまだない。 ③「陶地区内の四季の写真」コンテストで交流C内展示作業の協力頂く。</p> <p>(今後に向けて) ①グループの親睦を一層深めながら、地域づくり活動にも参加する。 ②力作業だけでなく和裁、生け花、菓子づくり等のソフト作業のPRの実施。 ③定期展示の写真が「陶の四季写真」コンテストの更なる向上を期待する。</p>

事業名	広報活動の推進
事業費	706,718円
事業概要	<p>(実施内容) ①広報誌「まるごと陶」を毎月発行し、各戸に配布しました。 ②フェイスブック「まるごと陶」12月にリニューアルし情報発信を継続。</p> <p>(実施時期) ①、②共に令和2年4月から令和3年3月まで(No101からNo112)。</p> <p>(参加人数) ①毎月第2火曜日編集委員会(96人)。</p> <p>(成果) ①郷土の偉人紹介記事に人気が出て感想や、Facebookで「いいね！」増える。</p> <p>(評価) ①コロナで各行事が中止になる中、小中学校、交流公民センター、地区内で地道な情報収集活動を実施し、この度も公民官報で6度目の優良賞を受賞した。</p> <p>(今後に向けて) ①「みんなで作る広報誌」を目指し、更に親しみのある内容に努める。</p>

### (3) 地域福祉

事業名	子育て支援の推進
事業費	90,000円
事業概要	<p>(実施内容) ①キッズ陶来楽夢 ボタン付け、中華丼、皿洗い、肉巻き、Xmas、ティッシュケース等。 ②げんきっずすえ 影絵、プレゼント制作、体操、Xmas、節分、おやつ作り等。</p> <p>(実施時期) ①、②コロナで5ヶ月間休講しコロナ対策を実施し後半を乗り切った。</p> <p>(参加人数) ①対象学童延べ60人、②対象親子延べ105人</p> <p>(成果) ①小学高学年が独立出来る様に②未就園児のお母さんの輪が広がった。</p> <p>(評価) ①仕事等の都合で家事が出来ない親に代わり家事出来る様自信を持たせた。 ②食推、母推等が協力して若いお母さん達の悩み事解決に一役も二役も活躍。</p> <p>(今後に向けて) ①生活体験として、調理と手芸を実施予定。 ②今後も未就園児、保護者さんの支援を継続する。</p>

事業名	地域福祉講座の開催
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容) ワンポイント講話、楽器演奏、合唱となるとどうしても聴衆者が増えコロナ禍での行事は実施出来ないの判断で全て中止とした。</p> <p>(今後に向けて) コロナが終息したら外部講師を迎え沢山の高齢者に参加して頂けるような講座を企画する。</p>

事業名	三世代交流の推進
事業費	52,147円
事業概要	<p>(実施内容) 交流イベント①陶小ふれあい広場②3世代餅つきをはコロナで中止した。 ただし、②のだいがらが故障したので修理し今後の活動に活かす事とした。</p> <p>(成果) 自治会連合としては三世代交流は出来なかったが、2月上旬に小学校3年生の社会科の授業で「人々の暮らしの移り変わり」で七輪で火をおこしを若い先生と用務員さんが指導されている様子が連合事務室から見えたとき、今まで交流イベントで餅つきしてたのが少しはお役に立ったのではと炭火で焼いたお餅をおいしそうに食べる様子見て感じた。</p> <p>(評価) 三世代がふれあうのは家庭ではあまり見られなくなったのでせめて小学校で、参加しやすい様に参観日に併す事の継続が必要と感じた。</p> <p>(今後に向けて) 三世代交流で昔の暮らしなどの活かした教材として用具等も残すように。</p>

事業名	小規模福祉の輪づくり
事業費	15,000円
事業概要	<p>(実施内容) ①健康教室(「老人の健康管理」、「転倒防止」等についての講話と歌・音楽 ②西京大学は老人クラブが主催する輪づくりでコロナで開催できず。</p> <p>(実施時期) ①6月、9月からほぼ毎月で参加人数も平均20人で少しずつ増えている。</p> <p>(成果) 地元の元民生委員や福祉の方々から包括支援センター等から講師を招き、最初はお話や歌のみであったが、9月からはパーティションの設置された机でマスク着用しコロナ感染防止対策が施されたふれあいセンターでコーヒーの香りがする中での講話・歌・楽器演奏・おしゃべりでストレス解消されていると感じた。</p> <p>(今後に向けて) コロナが終息すれば交流センターでも実施したいの意気込みである。</p>

事業名	高齢者のサポート
事業費	114,292円
事業概要	<p>(実施内容) ①9月の敬老の日に陶老人クラブ連合会等に協賛し敬老の日の支援をした。 ②フォークダンスグループ資金援助で活動内容は2回/年の他地区との合同交流会で10月5名参加し小郡交流Cで実施。また2回/月の講習会計画では、4月、5月はコロナで10月は農繁期でお休みした以外は計画通り実施した。</p> <p>(成果) ①老人クラブの方が「敬老の日」用粗品選びに受け取る側の老人を思ってカタログ □ 探し、おそらく受け取られたご老人もその思いが十分伝わったと思われる。 ②今まで経験したことのないコロナを「3密」を避けながら、なんとか継続できた事は来年からの活動に大いに役立ち継続する力がついたと思われる。</p>

事業名	交通弱者支援事業
事業費	0円
事業概要	<p>(事業内容) 老人の免許返納等による買い物、通院等外出支援対策を検討すべく会議を準備していたが、コロナで交流センターが一時閉鎖されたため出鼻をくじかれた感じになり最終的には会議は開かれなかった。</p> <p>(今後に向けて) 昨年、交通弱者支援対策として陶にAIタクシー導入しドア ツードアで快適な老後生活を目指すとして、事前勉強した中で、高額な運転資金が必要となることが判明し検討会メンバーに半ば諦めムードのまま、今年度の検討委員会を立ち上げたので盛り上がり欠けた。今後は陶単独で実施するのではなく南部地域全体で導入する方向で事を進めたいが市の交通政策課でコミュニティー交通について事前に情報を入手して来年度挑戦したい。</p>

事業名	健康管理活動・保健講座
事業費	15,400円
事業概要	<p>(実施内容) 陶地区ウォーキングのコースで、ふるさとを再発見と体力づくりを予定していたがコロナのため中止しましたが、コロナ禍で最も必要となる検温計を整備した。</p> <p>(実施時期) 11月中止</p> <p>(成果) 今年度のウォーキング は中止となったが来年度は体協主催のヘルシーウォーキングを共催することとなり、折角頂いた時間を有効に使い、陶内ウォーキングコースや、休憩コーナー等の準備時間に有効に使えた。</p> <p>(今後に向けて) 来年度のヘルシーウォーキングに乞うご期待あれー！。</p>

#### (4) 安心・安全

事業名	反射鏡設置・修復(道路環境の整備)
事業費	53,900
事業概要	<p>(事業内容) 反射鏡所設置、故障修理</p> <p>(成果) 反射鏡取付、故障修理なし反射鏡、防犯灯設置位置表示ツールとしてデジタウン整備</p> <p>(今後に向けて) 地区内の必要箇所を調査して、今後も道路環境の改善に努める。</p>

事業名	自主防災活動の推進
事業費	213,741円
事業概要	<p>(実施内容) ①「自主防災活動の大切」で新任役員研修会実施。 ②「命を守る行動」として火災警報器の交換設置334個を消防団と協力実施。 ③「陶小と合同避難訓練」として教室から運動場に避難し消火訓練実施。 ④「土嚢づくり」消防団と共同で50袋の土嚢を作成。</p> <p>(実施時期) ① 4月 ②9月 ③11月 ④12月</p> <p>(参加人数) ① 19人 ②30人 ③93人 ④21人</p> <p>(成果) 10年前の火災警報器を交換という形の違う「防災・命を守る」行動として334個交換。</p> <p>(評価) コロナで防災活動訓練は、やり方の工夫次第で出来るのだと確信した。</p> <p>(今後に向けて) コロナ禍での避難訓練内容等を盛り込みながら体制の強化を図る。</p>

事業名	交通マナーアップ in SUE(交通安全、交通マナーアップ)
事業費	21,376円
事業概要	<p>(事業内容) 小、中新入生の交通安全を図るため警笛、ベストを贈り、交通安全期間中に幟旗掲揚と、広報活動や立哨活動をしました。台風で壊れた交通安全看板修理。</p> <p>(実施時期) 4月、7月、9月、12～1月</p> <p>(参加人数) 70人</p> <p>(成果) コロナ感染拡大防止のためカーブミラー清掃は未実施とし他は計画通り実施。</p> <p>(評価) 用具の贈呈、立哨活動、広報活動により安全啓発を充実させることが出来た。</p> <p>(今後に向けて) 引続き交通安全の啓発活動を充実させます。カーブミラー清掃再開予定。</p>

(5) 環境づくり

事業名	土木工事:法定外公共物
事業費	3,339,000円
事業概要	(実施内容) 法定外公共物の整備、里道の舗装工事(3路線)、農水路の浚渫(1件) (実施時期) 令和2年11月～令和3年1月 (参加人数) 業者に委託 (成果) 里道の舗装、農水路の整備が出来ました。 (評価) 農水路の浚渫が出来たことで住民の清掃意識が変化したとのこと。 (今後に向けて) 来年度から水路の補助割合を引上げる為、工事申請が多くなる見込み。

事業名	陶クリーン作戦(道路環境美化)
事業費	497,154円
事業概要	(事業内容) 地区内の国道、県道周辺や通学路の環境美化、中央公園の清掃を実施した。 (実施時期) 7月、11月、2月 9月(中央公園) (参加人数) 597人 (成果) 高齢者の参加で道路法面草刈り機・ブロワーを整備し作業の安全と効率を高めた。 (評価) 中央公園・中学通学路の草刈りで、小・中学の先生・生徒の参加が多くなった。 (今後に向けて) 更に作業工程、方法の見直しをしながら、環境美化に努める。

(6) 地域個性創出

事業名	再発見「素晴らしい陶」
事業費	229,360円
事業概要	(実施内容) [陶の行事&四季]写真コンテストを実施し、審査方法は地元住民の投票で決定。 (実施時期) 写真展示は11月13日～12月11日、地域広報誌12月1日号に全作品を掲載し 写真展示会場での直接投票と電話投票で、最優秀、優秀、入選を決定した。 (参加人数) 10名(28作品応募あり)、総投票数125人 (成果) コロナ禍での写真コンテストで心配されたが地元の皆さんの関心は高かった。 (評価) 陶という狭い地区内で画材を求める姿、投票された地元住民の熱い「陶」愛を感じた。 (今後に向けて) 引続き四季写真コンテストを行う。

事業名	陶ふるさと大学(史楽会)
事業費	100,000円
事業概要	(実施内容) ①「富永有隣墓参②「大村益次郎の一生」③有隣没後120年講演 (実施時期) ①8月 ②9月 ③12月 (参加人数) ①16名 ②23名 ③29名 (成果) ふるさと再発見郷土の偉人「富永有隣」についての講座で感嘆の声あり。 (評価) 鑄銭司地区の大村益次郎は知ってても「富永有隣」のことは地元陶でもあまり知られて なかった史実が講演により明らかにされたり、地元広報誌「まるごと陶」に記事掲載され たことで、地元住民に少しずつ理解されていく傾向にある。ふるさと大学主催の史楽学 会の果たす役割は大きい。 (今後に向けて) ふるさと再発見に向けた講演・広報活動の更なる強化を図る。

事業名	文化財保護活動
事業費	265,594円
事業概要	<p>(実施内容) ①西陶こども会と文教部会で陶窯跡周辺の清掃、整備 ②正護寺説明板移送 ③銚銭防説明板修理 ④慶安開作石碑修復</p> <p>(実施時期) ①3月 ②4月 ③9月 ④1月</p> <p>(参加人数) ①こども 10名 大人 14名 ②～④は請負工事で実施</p> <p>(成果) ①こども会と一緒に活動することで、郷土の文化財に興味を持つようになった。 ②～④どこが管理しているかが不明であったが、調査の結果平成3年陶地区さとづくり推進事業協議会が設置したものと判明した。今後は陶連合自治会で維持管理する事となった。</p> <p>(評価) 台風のお蔭で文化財説明板30から40枚を維持・管理をするようになった。 (今後に向けて) これからは窯跡清掃は勿論この活動を陶全体に広げる様務めたい。</p>

事業名	陶ブランドの立ち上げ
事業費	83,791円
事業概要	<p>(実施内容) ①遊休農地に酒米を植え地酒をつくる。「地酒の楽校」陶分校開校コロナで中止 ②すえっきープリントポロシャツ販売。すえっきー饅頭試作に挑戦した。</p> <p>(実施時期) ① 7月 ②7～10月</p> <p>(参加人数) ①0人 ② 6人</p> <p>(成果) ①新酒が出来た頃はコロナ感染拡大防止のため「地酒の楽校」開校出来ず。 ②-1すえっきーポロシャツを販売で40着弱に留まった。 ②-2「富永有隣」饅頭の試作挑戦したが残念であるが好評価なし。</p> <p>(評価) ①「遊休農地の利用」が酒米だけでなくもっと他に利用価値がないか検討が必要。 ②「すえっきーポロシャツの改良(色落ちしない、着ごごち)」や「富永有隣」饅頭等の試作品アイデアは若者から出たもので素晴らしかった。</p> <p>(今後に向けて) 陶の魅力を若者にも聞いて、そこからアイデアを絞り出す。</p>

事業名	地元文化育成
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容) 地元の音楽愛好家を軸とした手作り音楽祭を陶ふれあいまつりと共催する計画でしたがコロナ感染拡大防止のため中止した。</p> <p>(参加人数)</p> <p>(成果)</p> <p>(評価)</p> <p>(今後に向けて) コロナ禍でもやり方を工夫して手作り音楽祭に挑戦する予定。</p>

事業名	コミュニティ・スクールの支援
事業費	50,000円
事業概要	<p>(実施内容) 陶小学校コミュニティ・スクール活動を支援した。</p> <p>(実施時期) 随時</p> <p>(参加人数)</p> <p>(成果) 地域の人材が教育活動、課外活動のボランティアとして携わった。</p> <p>(評価) 地域ボランティアと小学校とのつながりがの輪が拡がりつつある。</p> <p>(今後に向けて) 陶小学校のコミュニティ・スクール活動の支援を続ける。</p>

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加予定者数等の項目で概要を記載してください。